

様式第4号（第5条関係）

令和6年3月31日

古賀市議会議長 渡 孝二 様

議員名 井之上 豊



令和5年度6～3月分政務活動費収支報告について

古賀市議会政務活動費の交付に関する条例第6条第1項に基づき、別紙のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

- 1 令和5年度6～3月分政務活動費収支報告書
- 2 添付書類
  - (1) 政務活動費収支報告書（別紙1）
  - (2) 政務活動費支出内訳書（別紙2）
  - (3) 領収書又はこれに準ずる書類

別紙1

令和5年度6～3月分政務活動費収支報告書

議員名 井之上 豊

1 収入

政務活動費 100,000円

2 支出

項目	金額(円)	支出内訳書の番号
調査研究費	7,000円	2
研修費	66,020円	1
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
支出合計	73,020円	

3 残額

26,980円

別紙2

令和5年度6～3月分政務活動費支出内訳書

番号	期間	内容	経費(円)	備考	
1	令和5年7月 5日～7月6 日	全国地方議会サミッ ト	66,020円	旅費含む	
2	令和5年11 月20日	JR古賀駅周辺開発 に関する有識者との 意見交換会	7,000円	講師謝礼	
3					
4					
5					
6					
7					
8					

※研修及び視察には報告書を添付のこと

①

井之上 豊

様

一般社団法人マニフェスト研究会

## 全国地方議会サミット 2023 領収書の送付について

日頃より、ローカル・マニフェスト推進連盟の活動にご理解・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

この度は、全国地方議会サミット 2023 への参加お申し込み誠にありがとうございます。領収書を送付致しますので、ご確認の程よろしくお願ひします。

ご多用のところお手数をおかけしまして恐れ入りますが、何卒よろしくお願ひ申し上げます。ご不明な点がございましたら、下記問合せ先までご連絡ください。

# 領 収 書

領収 No : S20230444D

領収日 : 2023年5月10日

井之上 豊

様

一般社団法人マニフェスト研究会  
代表理事

〒162-0041  
東京都新宿区早稲田鶴巻町 517-1  
ドロード早稲田 402  
電話 : 03-6709-6739  
メール : [mani@maniken.jp](mailto:mani@maniken.jp)

下記の通り正に領収致しました。

¥ 10000 -

内容	金額	備考
全国地方議会サミット2023(7月5日・6日開催)参加費として ¥	10000 -	議員 1名様 (@¥10000)
全国地方議会サミット2023(7月5日・6日開催)参加費として ¥	0 -	議員以外 0名様 (@¥5000)
—余白—	—余白—	—余白—
合計 ¥10000 -		税込

①

領 収 証

No 085584

井之上 豊 様

2023年 5月30日

金 額				¥	5	6	0	2	0
-----	--	--	--	---	---	---	---	---	---

但し 方名費として

上記の金額正に領収致しました



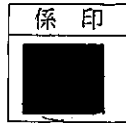
請求 No.	29418
現金	✓
内 小切手	
振 込	
相 殺	



JOY TR

ジョイトラ

〒811-8103 福岡県古賀市中央1丁目6-40  
 tel (092)943-1355  
 fax (092)943-1366



# 全国地方議会 サミット 2023

07.05&06 早稲田大学大隈講堂

北川 正恭  
元 三重県知事

河野 太郎  
デジタル大臣

土山 希美枝  
法政大学 教授

廣瀬 克哉  
法政大学 総長

江藤 俊昭  
大正大学 教授

片山 善博  
元 総務大臣

## 変わる社会・デジタル・あたらしい民主主義

### ～激変する時代に対応する社会基盤としての議会を実装する～

コロナ禍で進んだ生活様式の変容、人口構成の変化による公共サービスの危機、

凄まじいスピードで進化する生成AIなどデジタル技術の革新、

「地方分権」「マニフェスト」20年を経た、あたらしい民主主義の再定義——。

私たち地方議会は、こうした激変する時代にいかに立ち向かい、対応するのか。

地方議会こそが社会の激変に的確に対応し、地方から国を変えていくという決意のもと、

今年も早稲田大学大隈講堂で「全国地方議会サミット」を開催します。

専門家や当事者の議論に加え、各地の議会から事例紹介も交えて大いに提起します。

全国各地からのご参加をお待ちしております。

7/5 WED 13:00-18:00

7/6 THU 10:00-16:00  
途中昼食休憩あり

基調講演	特別講演	鼎談	政策議会の一般質問
<b>激変する時代に対応する議会を実装せよ</b> 早稲田大学 名誉教授、元三重県知事 <b>北川 正恭</b>	<b>デジタルで変わる社会 地方と議会への期待</b> デジタル大臣 <b>河野 太郎</b>	<b>地方分権の20年と これからの10年を展望する</b> 早稲田大学 名誉教授、元三重県知事 <b>北川 正恭</b> 大正大学 教授、元総務大臣 <b>片山 善博</b> 法政大学 総長 <b>廣瀬 克哉</b>	<b>一般質問を 議会の政策資源にするシクミ</b> 法政大学 教授 <b>土山 希美枝</b> 実践議会 北海道鹿野町議会 <b>ほか</b>
<b>デジタルで変わる自治体・政策</b>	<b>ChatGPTの自治体活用実証 横須賀市のデジタル戦略</b> 横須賀市 デジタル・ガバメント推進室 <b>寒川 孝之</b>	<b>自治体監査と議選監査委員を活かす</b> 政策サイクルと 政策財務 大正大学 教授 <b>江藤 俊昭</b>	<b>監査委員との連携 自治体監査・議選監査の活かし方</b> 鎌倉市監査委員事務局 局長、 前議会事務局 議事調査課長 <b>谷川 宏</b>
<b>マイナンバーカード交付率9割超え 都城市のデジタル戦略</b> 都城市 総合政策部 デジタル統括課 <b>佐藤 泰格</b>	<b>デジタル図書館と アクセシブルライブラリー</b> 株式会社メディアドゥー 電子図書館推進センター <b>林 剛史</b>	<b>議選監査委員を活かす</b> あきる野市議会 議員、議選監査委員 <b>子能 敏人</b>	<b>議選監査委員の活かし方 行政のかかりつけ医</b> 可見市議会 議員、議選監査委員 <b>川上 文浩</b>
<b>全国初 県内全77市町村との 協働電子図書館「デジとしよ信州」</b> 県立長野図書館 館長 <b>森 いづみ</b>	<b>デジタル・オンライン活用最前線 AI活用による議会の視覚化と市民参画</b> 取手市議会 議長 <b>金澤 克仁</b>	<b>政策につよい議会をつくる</b> 政策決議提案とガイドライン 奥州市議会 議長 <b>菅原 由和</b>	<b>議会における政策づくりと 政策法務</b> 関東学院大学 教授 <b>津軽石 昭彦</b>
<b>オンラインとデジタルを活かす</b>	<b>議会デジタル化の必要性 ChatGPTなどの生成系AIとどう向き合うか</b> 東北大学大学院 准教授、 都府県議会デジタル化専門委員会 委員長 <b>河村 和徳</b>	<b>デジタルで変わる市民と議会 まちだん宮崎市議会DX実証実験より</b> Gcomホールディングス株式会社 まちだん担当 <b>財前 資玄</b>	
<b>デジタルが拓くあたらしい民主主義</b>	<b>Society5.0時代の あたらしい民主主義</b> 早稲田大学 マニフェスト研究所 事務局長 <b>中村 健</b>	<b>つくば市が取り組む選挙DX インターネット投票実証実験より</b> つくば市長 <b>五十嵐 立青</b>	

全国地方議会サミット2023

検索

<https://maniken.jp/summit/>



終了後意見交換会(先着150名様、参加費4,000円程度、要申込)

日時	Day1   2023年7月5日(水)13:00-18:00 Day2   7月6日(木)10:00-16:00	参加費	議員   10,000円 一般   5,000円 <small>(いずれも税別、2日間を跨いでの場合です。)</small>
会場	早稲田大学大隈記念講堂(大講堂) 〒169-0071 東京都新宿区戸塚町1-104 オンライン配信あり(ZOOMミーティング) 事前にお申し込み頂いた方に限り後日アーカイブ配信をご提供いただけます	申込方法	ウェブもしくは裏面のFAX申込書より 期日:2023年6月30日(金)
対象	議員、議会事務局・自治体職員、市民等	主催者	主催 ローカル・マニフェスト推進連盟 マニフェスト大賞実行委員会  共催 早稲田大学マニフェスト研究所  後援 全国市議会協議会 全国町村議会協議会
定員	会場 先着1000名様  オンライン 定員無し	問合せ先	電話 03-6709-6739  メール mani@maniken.jp 事務局 早稲田大学マニフェスト研究所(亀井、山内)



# 全国地方議会サミット2023参加申込書(FAX専用)

参加日  
※必須  両日 (7月5日・6日)  
 Day1 (7月5日) のみ  
 Day2 (7月6日) のみ

参加方法  
※必須  会場 (先着1000名様)  
 オンライン (定員無し)

参加人数 議員 (10,000円/人) : 名様

参加人数 議員以外 (5,000円/人) : 名様

参加者氏名 (ふりがな、  
所属) ※別紙可  
※必須  
参加される方全員の氏名、  
ふりがな、所属を記入してく  
ださい。

意見交換会  
参加者氏名 (ふりがな、  
所属) ※別紙可  
※必須  
参加される方全員の氏名、  
ふりがな、所属を記入してく  
ださい。  
※参加しない場合未記入

Day1(7月5日) 終了後に意見交換会 (先着150名様定員/参加費4,000円程度\*当日現金払いのみ)  
を予定しています。

電話番号  
※必須

メールアドレス  
※必須

【注意】こちらに記入のアドレス宛に当日のご案内を送付します。参加者が複数名で、皆様個別  
にご案内が必要な場合は、氏名と合わせて全員分のメールアドレスを記入してください (別紙可)。

▼ 参加申込書を受領後、事務局より「請求書」を送付します。請求書発行に必要な事項を記入してください。

送付方法 ※必須  電子データ (PDF)  原本郵送 (別途500円の手料を申し受けます)

請求書お宛名 ※必須

様

請求書但書・日付

【注意】原則として、但し書は「全国地方議会サミット2023 (7月5日・6日開催) 参加費として」/日付は請求書発行日を記載します。別  
に指定がある場合のみご相談ください。

ご住所 〒 -  
※必須 住所 :

御担当者名 : 様

※上記御担当者様の電話番号 :

メールアドレス :

参考様式

<u>支出内訳書の番号 1</u>	
調査研究報告書	
1 名称	全国地方議会サミット
2 目的	全国の議会の先進事例を勉強するため
3 実施時期	令和5年7月5日～7月6日
4 実施場所	早稲田大学大隈講堂
5 参加者	井之上豊、村松謙二
6 その他	コロナウイルス感染症が解除になったとは言え、まだまだ感染が油断できず、ホテルへの交通手段は短くし、出来るだけ近くのホテルに宿泊した



1,

全国地方議会サミット2023「変わる社会・デジタル・あたらしい民主主義」

～激変する時代に対応する社会基盤としての議会を実装する～

コロナ禍で進んだ生活様式の変容、人口構成の変化による公共サービスに危機、  
凄まじいスピードで進化する生成 AI 等デジタル技術の革新、等をテーマに各  
専門家の話だけでなく、現場で DX を使って改革してきた、議員、事務局の話  
等、大変参考になった。

1日目

基調講演「激変する時代に対応する議会を実装せよ」早稲田大学名誉教授、北

川正恭名誉教授

特別講演「デジタルで変わる社会、地方と議会への期待」デジタル大臣 河野

太郎 公務の為にリモートで参加

デジタルで変わる自治体・政策

「マイナンバーカード交付率9割超え、都城市のデジタル戦略」

都城市総合政策部デジタル統括課 佐藤泰格氏

「チャット GPT の自治体活用実証」

横須賀市デジタル・ガバメント推進室 寒川孝之氏

全国初県内全77市町村との協働電子図書館「デジとしよ信州」

県立長野図書館長 森 いづみ氏

デジタル図書館オンライン活用最前線

「AI活用による議会の視覚化と市民参画」取手市議会議長金澤克仁

デジタルが拓くあたらしい民主主義

「SōCieTy5,0時代のあたらしい民主主義」早稲田大学マニフェスト研究所

事務局長 中村 健氏

つくば市が取り組む選挙DX インターネット投票実証実験より」

つくば市長 五十嵐 立青市長

2日目

「地方分権の20年とこれからの10年を展望する」

早稲田大学名誉教授 北川正恭教授 大正大学 教授 片山 善博教授

法政大学 総長 廣瀬 克哉教授

「一般質問を議会の政策資源にするシクミ」

法政大学 土山 希実枝教授 実践議会 北海道鷹栖町議会

自治体監査と議選監査委員を活かす

「政策サイクルと政策財務」大正大学 教授 江藤 俊昭教授

監査委員との連携 「自治体監査・議選監査の活かし方」

可児市議会 議選監査委員 川上 文浩議員

政策に強い議会をつくる

「政策決議提案とガイドライン」奥州市議会 議長 菅原 由和氏

## 「議会における政策づくりと政策法務」

関東学院大学 教授 津軽石 昭彦教授

等の方々の講演やディスカッションがあり、今後の古賀市の方向性が見えてくる。「書かない窓口」「行かない窓口」等大変参考になった。今回は、ほぼDXについての話でしたが、来年のテーマが何かが楽しみです。来年も必ず参加したいと思う。ただ、まだまだコロナウイルス感染症が完全終息ではなく不安な面もあったが何とか感染せずに帰ってこれた。2024年は議運の行政視察として参加したいと思う。

以上参加レポートです。

③

②

# 領 収 書

金 70,000円也

ただし、JR古賀駅周辺開発に関する有識者との意見交換会講師謝礼として  
上記金額を領収いたしました。

令和5年11月20日

JR古賀駅周辺開発調査特別委員会 様

福岡市東区香雅照葉 1-5-28

BACK UP



※議員有志10名にて行ったため、70,000 円 ÷ 10人 = 7,000 円/人  
※領収書の原本は森本議員分にて添付

参考様式

支出内訳書の番号 5 研修報告書	
1 名称	「質問力をアップする現場のヒント 理解編」と 「質問力をアップする現場のヒント 難解編」受講 地方議員研究会
2 目的	元大阪府・枚方市議会議員、現在京都・市民オンブズパー ソン委員会会員の高橋 伸介氏を講師に上記の研修を受講 し、一般質問のレベルアップをめざす。
3 実施時期	令和6年1月12日
4 実施場所	福岡市博多区 リファレンス駅東ビル
5 参加者	村松謙二
6 その他	<p>■質問力をアップする現場のヒント 理解編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 質問と質疑の違い、代表質問とは</li> <li>・ タイプを大きく4つに分けたスタイルとは</li> <li>・ RESAS を使い、客観的なデータに基づき地域の現状や課題を把握する</li> <li>・ 執行部から見た議会質問</li> </ul> <p>■質問力をアップする現場のヒント 難解編</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ キーワードは合意形成、環境醸成が重要</li> <li>・ 「モチベーションの高い職員」との交流を重ねる。</li> <li>・ これからの地方自治がどのようにならざるを得ないか</li> <li>・ 気になるデータ、人口減少時代の質問は。</li> </ul> <p>以上の視点で行政の立場を理解しながら、行政を動かす質問に結びつきたい。</p>

参考様式

<u>支出内訳書の番号 2.</u>	
調査研究報告書	
1 名称	JR 古賀駅周辺開発に関する有識者との意見交換会
2 目的	有識者との意見交換会を通し、パーク PFI 等の話などを聞き、JR 古賀駅周辺開発に役立てて行く
3 実施時期	令和5年11月20日
4 実施場所	古賀市役所4階第1委員会室
5 参加者	今井公一、結城弘明、森真希、秋吉智紀、村松謙二、福崎トビオ、伊藤康義、井之上豊、森本義征、渡孝二
6 その他	

令和5年11月20日に市役所4階第1委員会室で、戸田 三喜朗氏を講師に懇談会を行いました。積水ハウスを退職され後にクレアプランニン株式会社に入社しオフィス・店舗の開発を担当以後、ニューヨーク視察、東欧視察、タイ・シンガポール視察、バルセロナ視察等を終え

大濠公園の日本庭園横に「大濠テラス八女茶と日本庭園と」をオープン

福岡県の官民連携事業（パーク PFI）コンペにて決定

百道浜開発事業に続く福岡市と積水ハウスの開発事業、まさにゼロからの街づくり事業で、だれも住んでいないエリアに夢ある生活提案をするむずかしさを痛感させられる。販売責任者として住民第1号になる。住民自治会を立ち上げ、地域清掃から夏祭り実施など、通常では普通に行われている自治活動もゼロから行う。昨年、街びらきから17年がたち今では人口1万人を超える人気エリアになった。

青年会議所は、自営業や個人事業主が多い中でサラリーマン会員として活動。卒業する40歳最後の事業では、失われた20年と云われる中で、学生が将来を見いだせない現状に光を当てる事業を行う。「FUKUOKA HAPPY COLLECTION」と題して、各種専門学校に協力いただき夢見る専門学生たちに活躍・披露する「場」を提供。また、福岡市の「安全安心リーダー会」に参加し防災士になった事もあり、アイランドシティ内の住民限定で防災意識向上

のために「防災キャンプ公園に泊まろう」を実施。防災危機管理課の支援と福岡市キャンプ協会のお陰により、無事終了。参加者のアンケートを確認すると、防災に対する意識が高まったとの意見が多数あったので、この仕組みを福岡市へ提案。天神協議会では、天神エリア企業・団体、住民、行政が活動主体で構成するエリアマネジメント団体である WeLove 天神協議会に入会して、コミュニティワーキング部会に属して活動。現在約 150 社の会員企業だが、主要な幹事会社だけしか活動していないのが現状なので、会員企業の社員の出合いや繋がり創出のために、「ランチミートアップ会」等を開催。地道に天神街づくりを展開中。大濠テラス「八女茶と日本庭園と」2020 年オープン。大濠公園『つなぐ』プロジェクトの代表企業として、地場中小企業連合でコンソーシアムチームを組んで設計・施工・運営をするパーク PFI のコンペ応募。サウンディング調査ヒアリング時から参画して、今まで見てきたパーク PFI 実例や海外視察で参考になった公園事例を基に設置場所の変更提案書を提出して、本公募時には設置場所が変更になる。本公募では、公募要件になっている八女茶の利用と日本庭園の来園促進策を詳細に考え抜き提案。また、2 階や駐輪場区画を福岡県の地方創生の場になる様に各市町村や生産者や加工者が PR 出来るようにして、消費者がここで知ってから現地に行く回遊性ある仕組みを提案。

等この様な人の知見を伺い、「JR 古賀駅周辺開発」に生かしていければ素晴らしい事と思う。